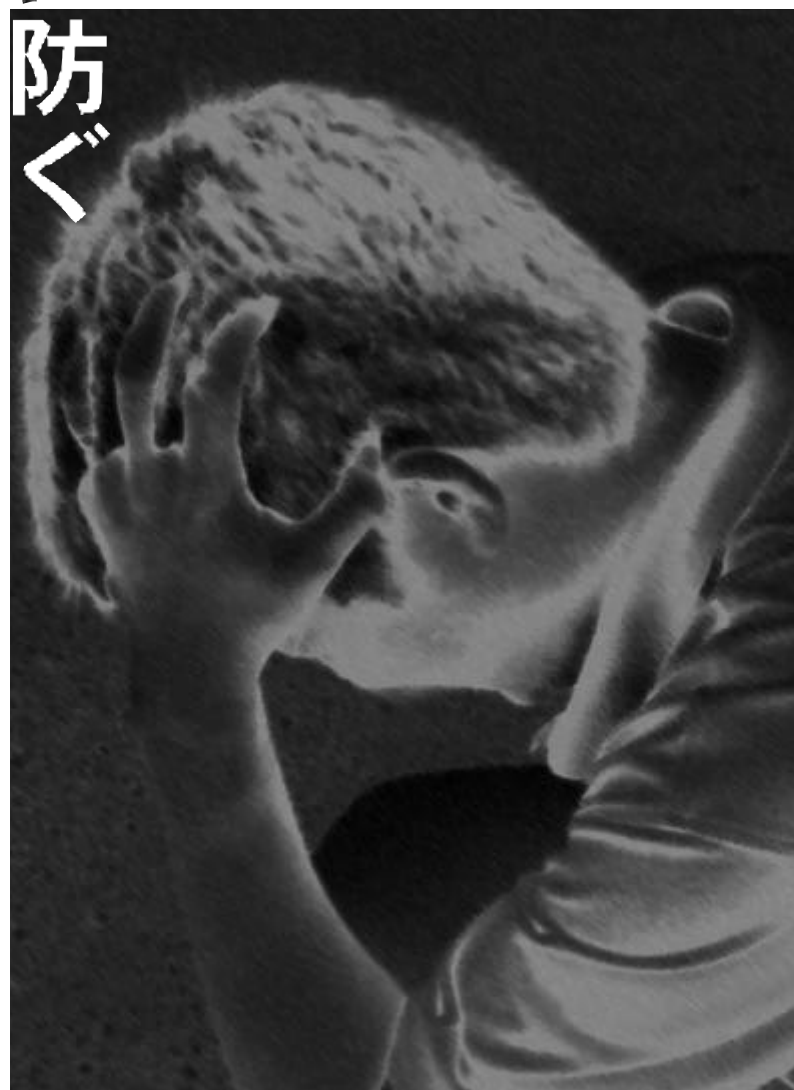


特集 犯罪から身を守る

家族の名をかたるオレオレ詐欺、根拠のない請求書を送りつける架空請求など被害者は全国各地で急増しています。このような犯罪、詐欺に遭わないためには、まず、あやしいと思ったら疑ってみるのが大切です。一人ひとりが危機管理の意識を高めていくことが必要です。



冷静な判断で未然に防ぐ 犯罪に立ち向かう勇気が大切

巧妙な手口で人をだます詐欺事件。その被害は都会だけでなく、私たちの身近な地域でも起きています。その被害状況や対策について、黒坂警察署生活安全刑事課長の山本明義さんに聞きました。

増加する悪質犯罪

黒坂警察署管内でも発生

今年の1月から8月までの間、鳥取県では、オレオレ詐欺が37件で被害総額約6200万円、架空請求や融資などの詐欺が20件で約1000万円の被害が発生しています。

黒坂警察署管内では、同期

間に5件の同種詐欺事件があり、被害総額は約277万円。相談は143件もありました。内容は、孫や息子を装い銀行口座に振り込ませようとするオレオレ詐欺が2件、ヤミ金融などの融資に関する詐欺

が2件、インターネットオー

クシヨンで落札したが、現金を振り込んでも品が届かないといった詐欺が1件発生。寄せられる相談数は、昨年同時期と比べ約3倍に増加。そのうちオレオレ詐欺や架空請求の相談が74件も占めています。

最近の犯罪は、複数犯によ

るものや巧妙な手口が多く、年々悪質化しています。犯人側も証拠がつかないよう仕組みを複雑化するため、実行犯にたどりつくことは容易ではありません。だからこそ、被害に遭わないことが大切です。

警察の名をかたり

示談金を要求する詐欺

最近では、警察の名をかたり交通事故の示談金を要求するといった詐欺も発生しています。県内では今年の1月から8月までの間、22件（総額